

令和三年十一月十五日 聖日記念祭

神 示

神神魂に思い預けて「生きる」人人間は皆 「心」明るく 強くなる

「神魂の時代」に悟りを深める 人人間の姿が ここにある

信者に申す

家族で「教え」を学び 「真理」で関わる家庭を築くべし

この思いが深まるほど

心人生は「運命」に重なり 喜び多いものへ時代と導かれてゆく

今今日を生きる社会人生に 大きく欠けているものがある

分かるかや

精神世界の真実に気付けずに ただ努力に頼って生きている

よって 真実の愛が芽吹かず 心感謝を返す思愛いも薄い

人人々との出会いを軽んじてはいけない

精神世界に生きるほど 人人々との縁が支えとなる

家族 縁者 友人 知人に

思感謝いを返す心を欠いてはいけない

人間は一人で生きてはいない

多くの関わりの中で 互いに支え合って生きている

「道」の真理を貫く心は 感謝

その思いが 出会いを通して 「真実の愛」へと育つ

神神魂の手中 「心運命」に重なる人生を歩む人人間は皆

「真実の愛」に生きている